

# ソーシャル PM ニュース 2015年7月

PMI 日本支部 ソーシャル・プロジェクトマネジメント研究会

ソーシャル・プロジェクト（社会課題の解決を目的とするプロジェクト）のマネジメントについて、研究活動の状況、イベント、人材募集などについてお伝えします。

## 2015年7月 もくじ

- A. 研究会活動の状況
  - A1 WG4（ソーシャル PM 実践 WG）の活動計画紹介
  - A2 ソーシャル PM 一問一答
- B. ソーシャル PM コミュニティ & イベント
  - B1 東京都とサービスグラントの協働プロジェクト「東京ホームタウンプロジェクト」
  - B2 「ソーシャル PM 実践ワークショップ」開催の予告
- C. 連携団体情報 & プロジェクト・マネジャー募集
  - C1 「WORK FOR 東北」プロマネ募集
  - C2 「サービスグラント」イベントのご案内・プロマネ募集
  - C3 「イノベーション東北」プロマネ募集

=====

## A. 研究会活動の状況

-----

### A1 WG4(ソーシャル PM 実践 WG)の活動計画紹介

ソーシャルPM研究会は、4つのWG（ワーキング・グループ：作業部会）によって構成されており、各WGの役割とWG間の関係は図1に示すとおりです。

今回はワーキング・グループ4（WG4、ソーシャルPM実践WG）の計画についてご紹介します。

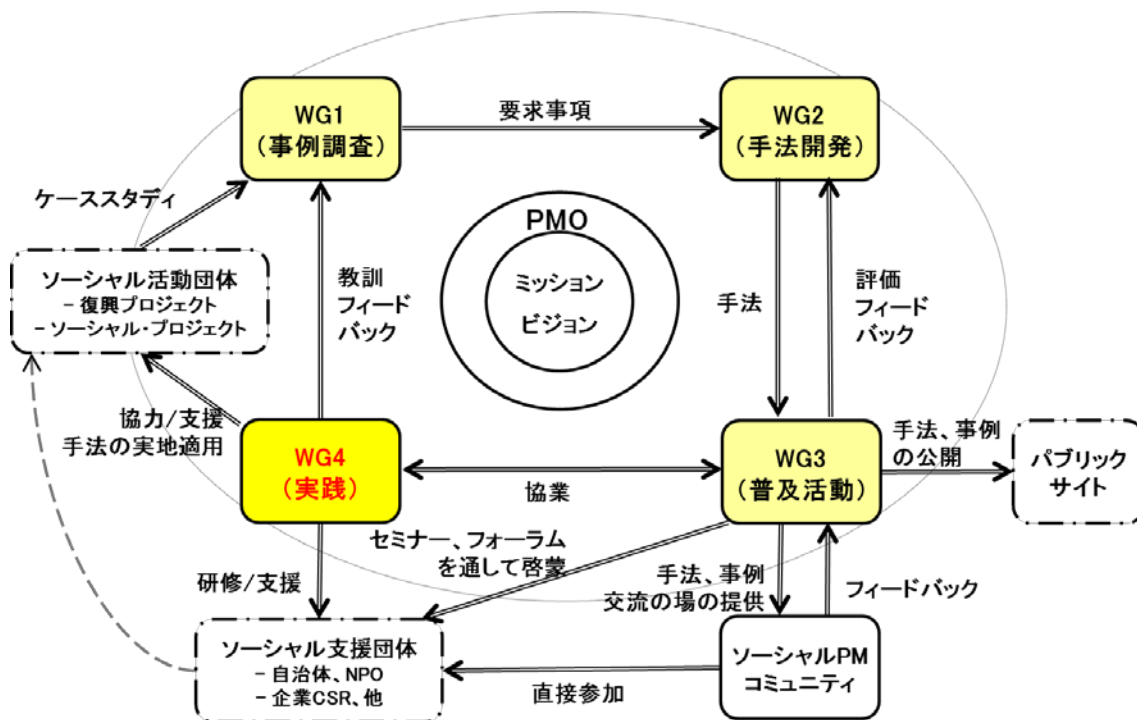


図1 ソーシャルPM研究会の全体像

東日本大震災の直後からPMI日本支部では「災害復興支援プログラム」を立ち上げて、いくつかのプロジェクトを直接支援してきました。WG4（ソーシャルPM実践WG）は、その延長上で復興支援に限らず対象を社会活動全般に広げて、以下の方針で活動を続けています

- ・ 実際のソーシャル・プロジェクトに参加して、その円滑な推進を支援する。
- ・ その経験から得た教訓をソーシャルPM研究にフィードバックする。
- ・ 研究会が開発したソーシャルPM手法を適用してその成果を評価する。

本年度もNPOや自治体のソーシャル・プロジェクトの支援を行っていきますが、ここではその中で次の2つのプロジェクトについて説明します。

- ① ITx 災害コミュニティ
- ② 情報支援レスキュー隊プロジェクト（IT DART）

この2つのプロジェクトは密接に関連し合っていて、コアメンバーも両方に入っている人が多いですが、プロジェクトの目的や進め方が全く異なります。ソーシャル活動はいろいろなマネジメント・スタイルで進められますが、その典型的な2つのプロジェクトです。

## ①ITx 災害コミュニティ

東日本大震災の際には、被災地の復旧・復興の支援のために全国から、海外からも多くのボランティアが駆けつけました。その中で、IT を専門とする企業、NPO などが被害状況の発信や安否確認の情報支援、パソコンやプリンターの提供、ネットワークの復旧などに尽力してきました。

PMI 日本支部も震災直後から復興支援プログラムとしていくつかのNPOに協力してプロジェクトマネジメントの面でお手伝いをしてきました。

2年経過した2013年10月にそれまでバラバラに活動していたIT系の活動家が連絡を取り合い協力の可能性を検討しようと「ITx 災害」会議を開催しました。約100名の専門家が集まり、その「つながり」を継続するためにコミュニティを作りました。

「ITx 災害」のホームページから、

<http://www.itxsaigai.org/>

### 「IT×災害とは

#### つながり×うごく×ひろげる

「IT×災害」は、IT と災害をテーマに想いを分かち合える皆さんが、つながり、情報を共有し、意見を交わす「場」を提供するものです。2011年の震災をきっかけに、「情報」と「技術」を表すITが減災、防災、または災害復興に役立てられないかを多くの方が考えてきています。このコミュニティはそのような皆さんをつなげ、動き広げる場としての役割を果たすものです。

Facebook を利用した議論・情報交換も行っています。興味のある方はぜひ [Facebook のコミュニティ](#)にご参加ください。

PMI 日本支部はこのコミュニティに参加して PMO の機能を担っており、メンバー団体とのイベント協業の扱いや要望に応じてプロジェクトマネジメントの支援をしていきます。

## ②情報支援レスキュー隊プロジェクト (IT DART)

大震災直後に情報支援を意図して組織された一つが「情報支援プロボノ・プラットフォーム (iSPP\*)」です。PMI 日本支部も設立時から参加しています。

(\*) iSPP : information Support pro bono Platform

<http://www.ispp.jp/>

震災後まもなくの2011年7月に「東日本大震災 情報行動調査」を行って、被災の際に必要な情報をどの媒体からどのように得られたかを3,000名の方々からお聞きしました。

それによると「情報の空白地帯」が広範に発生し、緊急支援が滞り、被災者はきわめて不安な状況におかれたことがわかりました。

発災直後こそ確かな情報が必要で、被災地からの自発的・主体的な情報発信が特に重要となります。日本の各地でさまざまな災害発生が想定されている今、被災地での正確な情報収集と情報発信体制の確保は喫緊の課題です。

当初はどのような支援が有効か具体的に的を絞ることができませんでした。現地の状況や人々の要望をお聞きするに従い、「災害発生後即座に、ITのプロが情報支援に積極的に関わられる仕組み作りが必要」との共通の理解から「情報支援レスキュー隊（IT DART\*）」の考え方が生まれました。

(\*） IT DART : IT Disaster Assistance and Response Team

ソーシャル PM 研究会も初期の段階からこのプロジェクトに関与しており、タスクの管理とスケジュール管理などを中心に行っています。

こうした団体には専門家（SME : Subject Matter Expert）が多く存在するがゆえにさまざまなアイデアが出されて、どうかすると堂々巡りをすることもあり、マネジメントを行うのは簡単ではありません。

具体的な例としては、ITDART 構想としてミッションやビジョンを固めようとして議論を開始した時には、参加メンバーが異なるごとに同じような意見を毎回のように行い、まとまるまでには半年近くの時間を要したことがありました。

ソーシャル PM 研究会からは WBS などのテンプレートを提供して、更新のファシリテーションを行っていますが、「いつまでに」、「誰が」などを決めようと都度主張しますが、曖昧なままに議論されることがしばしばあります。

しかしながら、多くの議論やシミュレーションによる訓練などを重ねるとともに、コンセプトに対する合意が得られ、現在では一般社団法人化に向けた準備を行っています。

その後は、隊員の募集や他の災害ボランティア団体との連携、さらに行政、企業などへの認知度向上のための活動などが予定されています。

なお、ソーシャル PM 研究会全体についてのご案内は次のサイトをご参照ください。

[https://www.pmi-japan.org/session/study\\_club/social\\_pm.php](https://www.pmi-japan.org/session/study_club/social_pm.php)

これらの活動にご関心を持たれましたら、ぜひオブザーバーで参加してみてください。

---

## A2 ソーシャル PM 一問一答

ソーシャル PM という新しい取り組みはまだ概念も十分に確定していないので、いろいろな質問をいただきます。その中で特に広くみなさまにご理解いただきたいテーマについて連載で解説していきます。

内容についてみなさまのご意見もお聞かせください。

(Q4) ソーシャル活動は状況次第で変化するので、臨機応変にやるしかないのではありませんか？

(A4) デザイン思考のアプローチによって、「アジャイル・マネジメント」を実現します。

5月号では、ソーシャル活動は多様なので多様な手法を用意しておいて、状況に応じて柔軟に選択すると言いました。それは活動の目標や内容そのものが多様であるから、それに適合した進め方を検討するということでした。

今度は、そうしてスタートした活動ですが、環境の変化や関係者の要求の変化によって、目標や内容を変更せざるを得ないことが起きることを問題にしています。

6月号では「デザイン思考」を「現場の状況や人々の行動/思考を観察/体験して問題の本質を洞察し、課題を再定義して仮説を作り、プロトタイピングによる試行錯誤を繰り返して解決に導くアプローチ」と説明しました。

このアプローチによれば、現場に直接入って人々と対話をしていますので、環境や要求の変化は比較的早く感知することができます。

また、関係者で課題を共有して仮説を作り、小さな単位でプロトタイプを作っていれば変更することも容易です。

どこかで聞いたような言葉・・・そうです、「アジャイルソフトウェア開発宣言」の狙いとほとんど同じです。アジャイル開発は、反復（イテレーション）と呼ばれる短い開発期間単位を採用することでリスクを最小化しようとするもので、近年システム開発の現場でだいぶ行われるようになってきました。

デザイン思考も同様に、プロトタイピングを繰り返すことによって徐々に解決策を完成させていこうとするものですが、対象は社会課題や組織改革など、あらゆる問題解決の手法として応用されます。広く経営や組織運営にこの手法を適用して変化に即応するマネジメント手法を「アジャイル・マネジメント」と呼ぶことにします。

## B. ソーシャル PM コミュニティ&イベント

---

### B1 東京都とサービスグラントの協働プロジェクト「東京ホームタウンプロジェクト」

このたび当ソーシャル PM 研究会の連携先のサービスグラントでは、東京都と協働で「東京ホームタウンプロジェクト」をスタートさせます。

以下はその案内文の再掲です。（詳細は下記の「C2 「サービスグラント」プロジェクトマネージャポジション募集」記事を参照してください。）

---

いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる「東京ホームタウンプロジェクト」

<http://hometown.metro.tokyo.jp/>

団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）になる 2025 年にかけて、これから東京は急速な高齢化を迎えます。

こうした中、高齢者の見守り、認知症・介護予防、ネットワークづくりなどに取り組む身近な地域の団体を応援する、東京都福祉保健局との協働プロジェクト「東京ホームタウンプロジェクト」が始まります。

このプロジェクトでは、プロボノをはじめ、東京で暮らし働く多様な人びとが、自身の経験や専門性を活かして地域づくりに関わるためのプログラムを推進していきます。

---

当研究会としても、このような「まちづくり」をフォーカステーマとしていますので、このプロジェクトに協力してプロマネの募集案内をしていきます。

このプロジェクトは東京都の中のものですが、他の地域でも同様な「まちづくり」プロジェクトが進められていると思います。サービスグラントとしての支援手順は、たいへんよく確立されていますので、ここでの経験は他のプロジェクトに参加したときに大いに役に立つと思います。東京都在住の方以外でもぜひ参加をご検討ください。

---

### B2 「ソーシャル PM 実践ワークショップ」開催の予告

7 月 11 日 PMI 日本フォーラムにおいて、当研究会のこれまでの研究成果を発表しました。昨年来ソーシャル PM のアプローチにデザイン思考の適用を検討してきて、今回はそこでもとめられた「ソーシャル PM フレームワーク」の妥当性確認を報告しました。

次のステップとして、このフレームワークを具体化する実践プロセスの開発を進めています。多数提案されているデザイン思考の手法からソーシャル PM に適するものを選定し、それを活用するプロセスの手順を定義していきます。

その成果を踏まえて、本年12月から6回シリーズで「ソーシャルPM実践ワークショップ」を以下の通り開催します。

研修タイトル	研修の狙い	実施予定
ソーシャル・デザイン思考実践	・社会課題の本質を捉える ・独創的なアイデアを創出し、ソリューションを提示する	2015年12月
ソーシャル・ベネフィット マネジメント実践	・プログラムの立上げ時点で、ミッション/ビジョン、戦略計画、プログラム・ベネフィットの関係性を明確化する	2016年1月
ソーシャル・ステークホルダー マネジメント実践	・多様なステークホルダーの期待をどうマネジメントするか、 識別、影響力の発揮方法を理解する	2016年3月
ソーシャル・ポートフォリオ マネジメント実践	・創出したアイデア、ソリューション、実現施策の投資価値 を最適化する	2016年5月
ソーシャル・アジャイル マネジメント実践	・デザイン思考から創出したアイデアを短期間でサービス/ 成果物として構築し、社会・市場からフィードバックを得る 手法を理解する	2016年8月
ソーシャル・ビジネスモデル デザイン実践	・ソーシャルソリューションをビジネスとして成立させて持続 可能性を考慮してビジネスモデルをデザインする手法を理 解する	2016年10月

図2 ソーシャルPM実践ワークショップ(予定)

### C. 連携団体情報・プロジェクト・マネジャー募集

ソーシャルPM研究会が連携している団体からのプロマネ募集です。

#### C1 日本財団「WORK FOR 東北」(復興庁協働事業) プロマネ募集

##### ◆ 8月6日(木) 個人向け説明会@日本財団ビル 開催決定

今年度初となる個人向け説明会を、いよいよ来月8月6日(木)に開催いたします。当日は、パネルディスカッション、多くの案件ご紹介はもちろん、相談会のお時間もたっぷり設けています。

震災から5年目の今だからこそ、

「いま東北という地域で働く」ことを考えてみませんか？

日時：8月6日(木) 19:00～21:00 (受付開始 18:30)

会場：日本財団ビル 1 階バウルーム（東京都港区赤坂 1-2-2）

<http://www.nippon-foundation.or.jp/about/access/>

詳細、お申込みは以下のリンクからどうぞ。

⇒ <http://www.work-for-tohoku.org/event/20150806/>

-----

◆お勧めの案件

〔岩手県大船渡市〕大船渡駅周辺地区官民連携まちづくり協議会（タウンマネージャー）

被災した中心市街地の復興まちづくり計画の作成支援、まちづくり会社の事業計画の作成支援、事業者や市民からのヒアリング、事業者や市民等の交流イベント企画・運営支援、Web 等を活用した地域情報発信を通じ、将来に向けた大船渡市の復興に関わりたい方を募集しています。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/135>

〔岩手県大槌町〕大槌町復興推進隊（地域コミュニティの再構築担当）

商業、物産、コミュニティ等の地域力の再生を図り、その再生を継続してサポートし、市街地を含む町内全体を活動地域とする「大槌町復興推進隊」のメンバーを募集します。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/136>

〔宮城県石巻市〕新設予定の観光交流施設（市場型商業・生鮮マーケット）運営に係るマネージャー（石巻市 6 次産業化・地産地消推進センター）

石巻から日本の食文化を国内外に発信する拠点施設として 2016 年度中に新設予定の観光商業施設において、施設の店舗企画・運営、テナント誘致、運営会社の人事総務、会計等内部管理業務の総括マネージャーを募集。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/67>

〔その他〕一般社団法人 RCF 復興支援チーム（「復興応援 キリン絆プロジェクト 水産業支援」事務局）（水産業の地域ブランド化コーディネーター）

岩手、宮城、福島の水産業を支援するキリン絆プロジェクト事務局では、現地の水産業者とともに、三陸の素材を活かした高付加価値を開発し、東北の水産業の地域ブランド化を進めるコーディネーターを募集しています。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/84>

その他、全体の募集案件は以下よりご覧いただけます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/>



◆ 「WORK FOR 東北」 事業について

<http://www.work-for-tohoku.org/>

「WORK FOR 東北」では、東日本大震災で被災した自治体などの人材ニーズと、復興の現場で働きたいという個人、企業の方をお繋ぎするサポートを実施しております。復興に携わる業務にご関心のある方、ぜひ一度ご検討頂ければ幸いです。

お問合せ・お申し込みは以下まで

日本財団「WORK FOR 東北」事務局  
東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5F  
TEL : 03-6229-5229 (9:00~18:00/土日祝除く)  
E-Mail : [jinzai-pf@ps.nippon-foundation.or.jp](mailto:jinzai-pf@ps.nippon-foundation.or.jp)

-----  
C2 「サービスグラント」プロジェクトマネジャーポジション募集

■いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる「東京ホームタウンプロジェクト」開始！

ご参加プロジェクトマネジャー募集

<http://hometown.metro.tokyo.jp/>

NPO 法人サービスグラントです。『ビジネススキルや専門知識を活かしたボランティア活動』である“プロボノ”のコーディネートを通して、NPO の支援を行っています。

今回は東京都福祉局との協働プロジェクト「東京ホームタウンプロジェクト」のご案内です。

団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）になる 2025 年にかけて、これから東京は急速な高齢化を迎えます。

こうした中、高齢者の見守り、認知症・介護予防、ネットワークづくりなどに取り組む身近な地域の団体を応援する、「東京ホームタウンプロジェクト」が始まります。

<http://hometown.metro.tokyo.jp/>

このプロジェクトでは、プロボノをはじめ、東京で暮らし働く多様な人びとが、自身の経験や専門性を活かして地域づくりに関わるためのプログラムを推進していきます。

支援先は東京の各地域で活動する地域団体・NPO などさまざまです。

今月は採択が決定している下記 4 団体の募集です。

(編集者注：応募締め切りは 7 月 23 日(木)ということです。本ソーシャル PM ニュース編集の都合で締め切りが迫っていますが、この協働プロジェクトについては今後も継続して募集があるということですので、プロジェクトの状況を知っていただくために掲載します。)

---

## 2015 年度 東京ホームタウンプロジェクト 採択内定プロジェクト概要

(各団体とプロジェクトの詳細情報は、各リンク先の取材記事をご参照ください)

.....

### (1) 太壱みまもりネットワーク (墨田区)

[サービスグラントの種類：ウェブサイト・サービスグラント]

墨田区・太平一丁目で地域の見守り活動をしている団体。東日本大震災後、町を挙げて見守り活動を開始し、いまでは 300 人以上の高齢者を年 3 回定期的に巡回するのが年中行事になっています。今回は、そうした見守り活動を他地域にも広めてもらうために、太壱の持つノウハウをウェブにまとめて発信しよう！というウェブサイト制作プロジェクトです。

太壱みまもりネットワーク プロジェクト詳細記事

[http://hometown.metro.tokyo.jp/project/project\\_details/?id=sumida\\_taiheil](http://hometown.metro.tokyo.jp/project/project_details/?id=sumida_taiheil)

#### 【募集ポジション】

- ・プロジェクトマネジャー (プロジェクトの進捗管理)
- ・マーケットター (ヒアリング、コンセプトの抽出)
- ・情報アーキテクト (ワイヤーフレーム、サイトマップの作成)
- ・コピーライター (キャッチコピー作成、団体作成文章のリライト)
- ・ウェブデザイナー (デザイン作成)
- ・マークアップエンジニア (コーディング)

### (2) 結 (ゆい) サポートセンター (立川市)

[サービスグラントの種類： マーケティング基礎調査・サービスグラント]

高度経済成長期に建てられ、半世紀が経過した立川市・富士見町団地。住民の高齢化が進

む中、お互いがお互いを見守りながら元気に楽しく暮らそう、と住民による、住民のためのコミュニティ活動を作り出しています。この活動をさらに団地全体に浸透させ、参加者を増やすにはどうしたらよいか？ その調査・施策検討をプロボノチームで行っていきます。

結サポートセンター プロジェクト詳細記事

[http://hometown.metro.tokyo.jp/project/project\\_details/?id=tachikawa\\_fujimi](http://hometown.metro.tokyo.jp/project/project_details/?id=tachikawa_fujimi)

#### 【募集ポジション】

- ・プロジェクトマネジャー（プロジェクトの進捗管理）
- ・マーケッター（ヒアリング、コンセプトの抽出）

(3) NPO 法人健やかネットワーク（板橋区）

[サービスグラントの種類： 事業計画立案・サービスグラント]

地域の空き店舗を利用して運営しているサロン「たまりば・とうしん」で、体操、小物づくり、ランチ会など、さまざまな活動を行っている団体。地域力を活かしてもっとユニークで活発な活動にするにはどうすればいいのか？ もっと多くの人に参加してもらうには？ 失敗を恐れずチャレンジしたいという「たまりば・とうしん」の新たな仕組みを、一緒に作っていきます。

NPO 法人健やかネットワーク プロジェクト詳細記事

[http://hometown.metro.tokyo.jp/project/project\\_details/?id=itabashi\\_tamaribatoshin](http://hometown.metro.tokyo.jp/project/project_details/?id=itabashi_tamaribatoshin)

#### 【募集ポジション】

- ・プロジェクトマネジャー（プロジェクトの進捗管理）
- ・マーケッター（ヒアリング、コンセプトの抽出）
- ・ビジネスアナリスト（ヒアリング、調査分析）

(4) NPO 法人風のやすみば（文京区）

[サービスグラントの種類： 印刷物（パンフレット等）・サービスグラント]

文京区・千石地域で、コミュニティカフェ運営のほか、ちょっとしたニーズに応える「な

んでも屋さん」、住民の事情により更地や空き家となったアパートの管理など、行政や町会では対応が難しい、住民個人をサポートするさまざまな活動を行っています。町の頼れる存在、風のやすみばの活動を千石の住民 7000 世帯にわかりやすく伝えていく印刷物を制作します。

NPO 法人風のやすみば プロジェクト詳細記事

[http://hometown.metro.tokyo.jp/project/project\\_details/?id=bunkyo\\_sengoku](http://hometown.metro.tokyo.jp/project/project_details/?id=bunkyo_sengoku)

#### 【募集ポジション】

- ・プロジェクトマネジャー（プロジェクトの進捗管理）
- ・マーケッター（ヒアリング、コンセプトの抽出）
- ・コピーライター（キャッチコピー作成、NPO 作成文章のリライト）
- ・グラフィックデザイナー（デザイン作成）

---

#### ■東京ホームタウンプロジェクトへご参加いただくには？

##### 1. スキル登録

ご参加への第一歩として、皆さまのビジネススキルや専門知識について『スキル登録』をお願いしています。ご参加までの流れ、並びにスキル登録フォームは以下ページよりご確認ください。

<http://www.servicegrant.or.jp/skill/flow.php>

##### 2. プロボノワーカー説明会ご参加

実際のプロジェクトにご参加いただくための必須条件として、皆様には「説明会」へのご参加をお願いしています。説明会では、より詳しくサービスグラントの考え方、これまでの実績、プロジェクトの進め方、参加にあたっての留意点等をご案内させていただいており、お時間としては1時間～1時間半程度です。

《7月プロボノワーカー説明会スケジュール》

- ・7月22日（水） 19：30～21：00

▽ 説明会について詳しくは・・・

<https://www.servicegrant.or.jp/skill/orientation.php>

## ■AD・PM 勉強会

日時；2015年7月24日（金）19:30～21:00

場所：サービスグラント事務局（渋谷）※地図：<http://www.servicegrant.or.jp/aboutus/>

講師：プロボノワーカーとしてPM経験豊富な方数名、サービスグラントスタッフ

主な内容：AD/PMとしてのプロジェクトご参加の流れ、AD/PMの役割の違い、ご経験者によるプロジェクト成功のポイントや経験談、質疑応答

定員：15名

よくプロボノワーカーの皆様はADやPMをご案内すると、

- ・いったいどんなことをしないといけないのだろうか...
- ・自分にはハードルが高い気がする...
- ・マネジメントの経験もないし・・・

といったご心配のお声を頂戴することがございます。

そこで、サービスグラントとして、そんなご心配にたいして、

ざっくばらんにマネジメントポジションについてご紹介をするような場として

「勉強会」を開催いたします。

ちょっと聞いてみたいな、といった軽い気持ちでも結構です。

この場に参加することがAD・PM立候補表明になる訳ではありません。ご安心ください。

AD・PMでのご参加を前提とされている方はもちろん大歓迎ですし、

マーケットターを第一志望にされている方でも、AD・PMの役割をご理解いただくことは非常に重要で、今後のプロジェクトご参加においてプラスに働くと思います。

少しでもご関心があれば、お気軽にご参加くださいませ。

### 【お問い合わせ先】

NPO 法人サービスグラント（担当：岩淵）

03-6419-402

[info@servicegrant.or.jp](mailto:info@servicegrant.or.jp)

### C3 「イノベーション東北」より案件のご紹介

イノベーション東北は、インターネットを活用して東北の経済復興を後押しし、地域の復興を加速することを目的に活動を続けています。(イノベーション東北の詳細は[こちら](#))

#### 【スキルを活かしたサポートの募集】

[福島で創業する為の創業育成スクールを開催したい！](#)

創業家育成感動スクール (福島)

スクールの講師が可能な方

#### 【ワントタイムサポート】

※どなたでもご参加いただけるアンケート形式のサポートです。所要時間 15~30 分

[尾崎白浜を生業と文化の息づく海のふるさととして、100年続くまちにしたい](#)

尾崎 100 年学舎・釜石リノベーション研究会 (岩手)

Web アンケートの写真を見て投票可能な方 (地域の魅力を発掘するためのアンケートです。所要時間 15 分程度)

[町内外の多様な人と創業支援プログラムをつくりたい！](#)

アスヘノキボウ (宮城)

まちづくりのアイデアを持っている方 (まちづくりで実現したいアイデアをご提案ください。)

=====

#### 編集後記

7月11-12日にPMI日本フォーラムが無事終了しました。フォーラムはPMI日本支部の年間最大のイベントであり、研究会などのメンバーにとっても研究成果を発表する重要な場として年間活動の最大の目標になっています。

当ソーシャルPM研究会のメンバーにとってもフォーラム発表の準備に並行して、Facebookグループの公開や支援先団体の社団法人化などの大きな山を越えてホッとしたのも束の間、たまったメールの処理などに追われてニューズレターの編集が遅れてしまいました。これでやっと一段落して、次の取り組みは「実践ワークショップ」の準備になります。

このニューズレターは社会課題解決の志を同じくするプロジェクト・マネジャーのコミュニティ醸成のために関係団体のイベントや人材募集の情報連携をいたします。

毎月15日の発行を目標にしますので、掲載希望のニュースをお寄せください。

発行者： PMI日本支部 ソーシャル・プロジェクトマネジメント研究会

責任者： 研究会代表 高橋 正憲

=====